

かがわぬいぐるみ病院プロジェクト

代表者 田口美夏 (医学部臨床心理学科2年)

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は市の施設や保育園、地域の祭りなど、香川県内に基盤を置きつつも、各所子どもが集まる場で模擬診察や保健教育を実施しています。子どもたち自身に「お医者さん」になってもらい、子どもたちから医療に対する恐怖心や不安感を取り除き、保健医療知識を身に付けてもらうことを目的としています。従来のこういった活動に加え、医学的知見のみに拘りすぎず、食育、徳育などの観点から児童を対象とした様々な健康指導をはじめとする活動の拡充も目指しています。児童を対象にしていることから、簡単な言葉で、楽しく学んでもらうことを大切にしています。一方で構成員たち自身も、医学的や教育的知見を獲得し、活動に反映させることで、子どもたちにより良い保健教育を還元できるよう努力し、様々な形態のコミュニティに参画した経験を活かして、主体的な活動を展開します。

2. 実施期間（実施日）

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業は、ぬいぐるみを患者に見立て子どもに医師役を演じてもらう「お医者さん体験（模擬診察）」や、紙芝居などの手段で大勢の子どもたちに健康な暮らしの大切さを伝える「保健教育」を実施することが主な活動です。

まず、本年度の活動として以下のような活動を行いました。

活動時期	イベント名	活動場所	参加者(子どものみ)
6月	お医者さん体験	高松こども未来館	88人
8月	着替え講習・手洗い講習	いちご保育園	20人
10月	香川大学医学部祭	香川大学医学部キャンパス	100人
10月	まんで願。	三木町	115人
2月	あつまれ！未来のドクター	高松こども未来館	90人

いちご保育園では、1～3歳を対象に「手洗い講習・着替え講習」をテーマに紙芝居とぬいぐるみを用いて実施しました(8月8日)。学生が手の洗い方を園児に紙芝居と歌を用いて知ってもらい、その後、正しい手の洗い方を学生とともに実践してもらいました。この実施において、手洗い講習と着替え講習を選んだ根拠として、成長過程として、1～3歳の子どもの多くは手洗いが自分でできるようになること、ボタンを自分でつけることができるようになる年齢であると知ったことから、楽しく学ぶ機会として適切であると判断したためです。結果として、手作りのお洋服を上手に着せてあげ、手洗いも楽しみながら実践してくれていました。また、多くの子どもがまだ会話をすることが難しい年齢であったため、うまくコミュニケーションをとることが難しく感じましたが、保育園の職員の方々にも手伝っていただき、安全にかつ楽しく実施を行うことが出来たと感じました。

(参加学生：医学科6人、看護学科3人、臨床心理学科2人)



医学部祭(10月10日)では、ぬいぐるみを模擬患者とした診察体験を実施しました。この体験では、子どもに白衣を着用してもらい聴診器やシリンジ(針のない注射器)、ピンセットや舌圧子など、日ごろ病院で使用している医療器具を用いてぬいぐるみを診察してもらいました。カルテを用意し、カルテに記入しながら診察を進めました。また、診察後には写真を撮影し、メダルとして記念に持ち帰ってもらいました。医学部祭では、2日間で約100名の子どもの参加がありました。医学部祭での実施は3年ぶりであったこと、そして、地域の方からの認知度や、医学部祭の広報活動をしてくださった方々の力もあったため多くの子どもたちの参加が予想されたため、待ち時間の解消のため、絵本の読み聞かせを行いました。また、医学部祭では、様々な年齢の子どもたちが参加するため、模擬診察が難しい子どもや反対に現在私たちが用意している内容だと簡単と感じる子どもたちがいた。現段階では、それぞれの学生に臨機応変に対応してもらおうようにしており、各学生に依存する形になっている。そのため年代別、子どもたちの知識の状況に応じてどのように対応するのか共通の認識を持つことが出来るように、学生同士で話し合いをしようと考えた。来年の医学部祭では、さらに多くの子どもに参加してもらい、学生も、もっと余裕を持って実施したいと考えています。(参加学生：医学科14人、看護学科3人、臨床心理学科3人)



地方祭「まんで願。」(10月25日)でも模擬診察を行いました。このイベントの際に、私たちの活動をさらに知っていただくために、広報活動の一つとして、Instagramの開設を行いました。さらに、ステージにも出演し、様々なキャラクターたちがスーパードクターのもとへやってくるという内容で、クイズを交えた劇をしました。模擬診察に参加した子どもは約65名、ステージ発表は約50名ほどでした。「まんで願。」では、着ぐるみを用いた集客により、雨天ではあったものの多くの子どもたちに模擬診察、劇場型クイズに参加していただけたと考えます。次回保健教育を行うときは、子どもから大人までともに保健医療についての知識を深められるような内容を考えていたいと考えています。(参加学生：医学科7人、看護学科2人、臨床心理学科3人)



高松こども未来館(6月24日, 2月24日)でも模擬診察を行いました。この2回の実施においては、どちらも徳島大学の方に来ていただき、ともに活動をしました。また、記念品としてチェキを持って帰ってもらう際の台紙であるメダルについては、毎回の実施時に子どもたちからどのようなキャラクターが好きかを聞くなどして、子どもたちに喜んでもらえるような工夫を行いました。6月の実施では、初めての参加の学生多くみ

られたが、大きな問題もなく、順調に実施を行うことが出来ました。また、2月の実施の際は、待ち時間の解消のために「臓器パズル」を製作し、使用しました。模擬診察の待ち時間の間にも自分自身の身体の中の臓器について学ぶことが出来るように、また、パズルにすることでまだ臓器への理解が難しい年齢の子どもにとっても遊ぶことのできる視覚的にやさしい色で、柔らかい素材を用いるなどの工夫を行いました。

(6月参加学生：医学科9人、看護学科3人、臨床心理学科4人/2月参加学生：医学科6人、看護学科1人、臨床心理学科3人)



4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業により、地域の子どもたちに保健教育、模擬診察の両方を実施することで健康意識の向上や病院への恐怖心の軽減が出来たのではないかと考えています。実際模擬診察をしていると、はじめは聴診器や白衣、注射器を嫌がる子どもたちも、徐々に器具に触ってみることで「もう怖くない!」というように積極的にぬいぐるみに対して診察していました。また、保護者の方に協力していただいているアンケートを見ると、「本物の聴診器に触れるという貴重な経験をさせることができて良かった」「子どもがまた参加したいと言っていた」など良い評価を頂きました。また、学生の対応に関しても、「人見知りをする子であったがやさしく接してもらえてよかった」「スタッフの対応もよくとても満足した」との声があったことから、本学の学生としてもよい評価につながったのではないかと思います。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

将来、医療に携わる学生が多く在籍しているこのプロジェクトでは、普段は主に座学での勉学を行っている学生が、今のうちから子供たちと触れ合い、笑顔で接し、わかりやすい言葉を選んで医療に対する説明を行うというのはとても貴重な経験になると考えます。また、実施の中では、子どもたちの安全性への配慮、学生同士の連携も必要になり、周囲に注意を向けることがとても重要です。医療分野に限らず、多職種連携、チームでの動きは私たちに求められている力であり、このプロジェクトにおいて培うことのできるものであると考えます。

さらに、子どもに説明するためにはまずは自分が医療に関して詳しくなる必要があるため、必然的に医療に対する見分を深める機会となりました。それをかみ砕いて説明することは文章力、コミュニケーション能力なども養える機会になりました。

また、小さな子どもが対象となるため、危険予知能力、個人情報保護、衛生管理などの意識が向上し、今後の生活に幅広く役立つスキルを身に付けるきっかけとなったと考えます。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

反省点としては、コロナが収束し、様々なイベントで参加者が増加したことから、「待ち時間」が発生するようになったため、その解消をうまくできなかったことが挙げられます。医学部祭では絵本の読み聞かせ、子ども未来館では臓器パズルの作成、使用も行いましたが、まだまだ改善の余地があると考えます。

また、広報活動にも今後は力を入れていきたいと考えています。各SNSを用いて私たちの活動を知ってもらい、認知度を上げることで多くの子どもたちに保健教育を実践していきたいです。

私たちの活動と同じような活動を行っている団体が全国にあり、その代表者たちと連携を取りたいと考えています。他大学の活動を参考にしつつ、「かがわぬいぐるみ病院」の活動をより良い活動にしていけるように努めたいと思います。

7. 実施メンバー

代表者 田口 美夏（医学部2年）

構成員 松岡瞭太郎（医学部6年）

小山絢子（医学部5年）

太田まどか（医学部5年）

吉本さやか（医学部4年）

井場美里（医学部3年）

梶野彩（医学部3年）

井場美里（医学部3年）

大越萌花（医学部2年）

岡田真依（医学部2年）

廣瀬愛唯（医学部2年）

清水堯仁（医学部6年）

山本倫誠（医学部5年）

岡郁己（医学部4年）

伊波和奏（医学部4年）

越智みなみ（医学部3年）

村上華音（医学部3年）

梅谷颯斗（医学部2年）

大平大耀（医学部2年）

西田愛純（医学部2年）

深澤莉生（医学部2年）

松岡優衣(医学部 2年)
 安井そよか(医学部 2年)
 有馬凜乃(医学部 1年)
 工藤里沙子(医学部 1年)
 橋本直哉(医学部 1年)

三好なつ実(医学部 2年)
 横山菜桜(医学部 2年)
 石光亮介(医学部 1年)
 菅田雄(医学部 1年)
 藤田梨紗(医学部 1年)

8. 執行経費内訳書

配分予算額		199,587円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
色画用紙フレッシュカラー(4ツ切判・10枚)キングコーポレーション わかくさ	2セット	298	596	
色画用紙フレッシュカラー(4ツ切判・10枚)キングコーポレーション グリーン	2セット	298	596	
色画用紙フレッシュカラー(4ツ切判・10枚)キングコーポレーション うすみずいろ	2セット	298	596	
色画用紙フレッシュカラー(4ツ切判・10枚)キングコーポレーション うすもも	2セット	298	596	
救急 キズテープ Mサイズ 100枚入り	3箱	231	693	
富士フィルム チェキフィルム instax mini 2/パック品 JP2(20枚入り)×5個セット [100枚入]	5セット	12,300	61,500	
パナソニック アルカリ乾電池 単3形20本パック LR6XJ/20SW	1セット	1,320	1,320	
パナソニック アルカリ乾電池 単4形20本パック LR03XJ/20SW	1セット	1,320	1,320	
オルファ(OLFA) 小型カッター-A+ 215B	2本	243	470	
プラス カッターマット 両面 A4 230×320mm グリーン 48-573	2枚	660	1,320	
サテンリボン イエローグリーン	2本	1,180	2,360	
サテンリボン ロイヤルブルー	1本	1,180	1,180	
サテンリボン ベビーブルー	2本	1,180	2,360	
サテンリボン ベールピンク	2本	1,180	2,360	
サテンリボン サンフラワー	2本	1,180	2,360	
サテンリボン レッド	2本	1,180	2,360	
サテンリボン ライトイエロー	2本	1,180	2,360	
サテンリボン ライラック	1本	1,180	1,180	
エッセンスフェルト 約45×60cm バニラ	2枚	1,100	2,200	
エッセンスフェルト 約45×60cm カシスピンク	2枚	1,100	2,200	
エッセンスフェルト 約45×60cm カカオ	2枚	1,100	2,200	
エッセンスフェルト 約45×60cm チェリーレッド	2枚	1,100	2,200	
TRUSCO(トラスコ) ブルーシート #2000 2.7m×2.7m BS20-2727	1枚	924	924	
ニチバン 両面テープ ナイスタックしっかり貼れてはがしやすい 10mm NW-H10AZ2P	1セット	947	560	
tmy022 着ぐるみ 大人用 フリース キャラクター ポケットモンスター ポケモン 仮装 衣装 パジャマ ルームウェア【ピカチュウ】	1着	6,380	6,380	
白衣クリーニング代	19着	500	9,500	
ぬいぐるみ病院用パーカー(共用)	14着	4,551	79,116	
ボンド	5個	244	1,220	
合計			192,027	